

57社・団体が出展、自動認識技術の専門展示会
AUTO-ID & COMMUNICATION EXPO
第23回自動認識総合展

2021年10月6日(水)～8日(金)、東京ビッグサイト 南ホール 4F
開催時間 10:00～17:00 [3日間とも]

一般社団法人日本自動認識システム協会(通称 JAISA[ジャイサ]、東京都千代田区 代表理事会長 小瀧 龍太郎)は、2021年10月6日(水)～8日(金)の3日間、東京ビッグサイト(東京国際展示場)南ホール4Fにて、「第23回自動認識総合展 AUTOID & COMMUNICATION EXPO 2021」を開催いたします。また、併設で「**BT Spice**自動認識セミナー(B ビジネス・T テクノロジースペース)」を開催いたします。

本展示会は、自動認識技術に以前から求められていた「省力・効率」の分野に加えて、社会において人が安心して生活できる「安全・安心」の分野、物流・製造等現場の「見える化」の分野での「バーコード、二次元シンボル、RFID(Radio Frequency Identification)、画像認識、バイオメトリクス(生体認証)」などの先端自動認識技術、及びこれらの技術を生かしたソリューション(物流、流通、生産、施設オフィス管理支援など)や応用システムを展示するものです。

来場者は、自動認識ベンダーのみならずコンピュータ関連業界をはじめ、アパレル、飲料、食品、出版、流通、物流、医療、オフィス管理、施設管理さらには公共関係と広範囲にわたり、その職種も開発、企画、営業、情報システム、設計から生産管理、購買担当の方々と多岐にわたっています(第22回は新型コロナウイルスによる緊急事態宣言により開催中止、第21回は約18,500人が来場)。開催概要は下記の通りです。

- ◆展示会名：「第23回自動認識総合展」
- ◆会 期：2021年10月6日(水)～8日(金) 10:00～17:00(3日間とも)
- ◆会 場：東京ビッグサイト[東京国際展示場] 南ホール4F
- ◆主 催：一般社団法人日本自動認識システム協会
- ◆後 援：総務省/外務省/経済産業省
- ◆開催規模：57社・団体 162小間
- ◆入 場 料：1,000円(インターネット来場事前登録者・招待券持参者は無料)
- ◆併催事業：BT Spice 自動認識セミナー
主催者*・出展社プレゼンテーション(※JAISAセッション、JAISAフォーラム、自動認識システム大賞受賞企業発表)
事例でわかる自動認識(出展企業による出展内容パネル展示)
- ◆ゾーン展示：モバイル&ウェアラブルゾーン
画像認識ゾーン
- ◆同時期開催展示会：フルードパワー国際見本市/測定計測展/
センサエキスポジャパン/総合試験機器展
- ◆展示会事務局：株式会社シー・エヌ・ティ

▼国内唯一の自動認識技術、ソリューションの専門展示会

本展示会は、「バーコード・二次元シンボル、RFID、画像認識、生体認証といった ID の最先端技術」と「ID 技術を活用した、業務の効率化、省力化・コスト削減、安全・品質管理、顧客サービス向上のための自動認識ソリューション」の 2 本柱にて構成されます。展示内容は、「参加 57 社・団体 によるブース展示」と「テーマ展示 未来をつなぐ AUTO-ID -SDGs を支える自動認識-」、「自動認識技術の活動を紹介する JAISA コーナー」、聴講無料の「主催者・出展社プレゼンテーション」などとなります。

▼新型コロナウイルス感染症対策について

- ・新型コロナウイルス感染症に該当する際にはご来場をお控えいただき、感染拡大防止にご協力くださいますようお願い申し上げます。（37.5 度以上の発熱、咳、喉の痛みなど自覚症状のある方 等）
- ・ご来場時にはマスク着用をお願いいたします。
- ・各所に消毒液を設置致しますので、手指消毒の徹底にご協力ください。

主催者の一般社団法人日本自動認識システム協会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、東京ビッグサイトの「展示会等における新型コロナウイルス感染防止のための対応指針」ならびに一般社団法人日本展示会協会発行の「感染拡大予防ガイドライン」に則り、安心、安全に展示会を開催してまいります。
詳細⇒ <https://www.autoid-expo.com/tokyo/common/pdf/step.pdf>

▼【非対面来場受付】 対人対応が少なく、スマートにご入場いただける 来場事前登録実施中！

「来場事前登録」の後にお送りするメールのプリントアウトもしくは同メールをスマートフォンで開き、QR コードが表示されることをご確認ください。会期当日、会場の受付の端末で QR コードを読み込むことで、入場証が出力され、対人対応が少なく、スムーズにご入場いただけます。

⇒ <https://www.autoid-expo.com/tokyo/jp/visit/>

▼出展者情報を公開。今回初めてオンライン機能を追加しました！

来場事前登録後、出展企業一覧を掲載した「Web ポータル展示」より、出展企業の製品情報の入手、動画視聴、製品カタログ（PDF）のダウンロードが可能です。

▼ **BTSpice** 自動認識セミナー

本展示会に併設される「自動認識セミナー」は上智大学名誉教授 荒木勉氏をセミナー委員長に迎え、ユーザの視点を意識したセミナーを実施します。

本セミナーは3日間開催され、6セッション 12 講演が用意されています。講師は各界の専門家が切り口鋭く実例などまじえながら最新の自動認識技術を講演し、通常ではなかなか聴講できないセミナーとなっております。

《10月6日（水）》

基調講演 K01 【無料】

「製造業におけるデジタルトランスフォーメーション（DX）の加速に向けて（仮）」

経済産業省 製造産業局産業機械課 課長 安田 篤 氏

S01 流通・物流における活用事例 【有料】

「スーパーマーケットの最先端 DX 取り組み」

ユナイテッドスーパーマーケットホールディングス（株）プログラムマネージャー/
（株）カスミ 取締役 執行役員 満行 光史郎 氏

「物流におけるロボティクスの導入について」

Kyoto Robotics（株） 営業部 部長代理 山村 隼司 氏

《10月7日（木）》

特別講演 T01 【無料】

「サプライチェーンのスマート化に向けた経済産業省の取組」

経済産業省 商務情報政策局 商務・サービスグループ 消費・流通政策課 課長補佐 久保田 倫生 氏

「荷姿ラベルの活用による検品省力化と伝票レス化の実現」

日本パレットレンタル（株） 事業企画部部長代理 木下 卓也 氏

「企業専属便と緊急便配送の組み合わせ配送の実現に向けた、貨物積載量のリアルタイムモニタリングの仕組みについて」

（株）ロジクエスト 執行役員 プロジェクト推進室 室長 後平 佐保子 氏

S02 医療現場での活用事例 1 【有料】

「病院薬剤部門の情報化（GS1 バーコード等の利活用）」

東京医科歯科大学医学部附属病院 病院長補佐・医薬品安全管理責任者・薬剤部長 高橋 弘充 氏

「非接触テクノロジーを、医療物流 DX の起爆剤に -内閣府戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）の取り組みから-」

（国研）国立国際医療研究センター 医療情報基盤センター長 美代 賢吾 氏

《10月8日（金）》

S03 製造や物流における音声認識の活用事例 【有料】

「スピーチトランスフォーメーションで製造業の課題を解決」

（株）アドバンスト・メディア 執行役員 事業本部副本部長 坂口 毅雄 氏

「今求められる物流システムとは ～多岐にわたるニーズとシステム化への期待～」

（株）シーネット IoT ソリューションズ 代表取締役社長 逸見 勇太 氏

S04 医療現場での活用事例 2 【有料】

「病院を巻き込んだ医療物流 EDI と GS1 バーコード利活用の将来展望」

名城大学大学院 都市情報学研究所 保健医療情報学 教授/医学博士 酒井 順哉 氏

「医療機器業界におけるバーコード表示の取り組みについて」

（一社）日本医療機器産業連合会 UDI 委員会 委員長 大畑 卓也 氏

▼ **テーマ展示 未来をつなぐ AUTO-ID「SDGs を支える自動認識」**

「持続可能な開発目標（SDGs）」、自動認識技術もその実現を図る不可欠なツールとして活用されています。本テーマ展示コーナーでは「SDGs を支える自動認識」をテーマに、SDGs への貢献を通じて

「未来をつなぐ AUTO-ID」の現在、そしてこれからの活用例をご紹介します。一方でその事例の多くは、ニューノーマルな生活を実現するシステムやサービスであることにも気付かされます。コロナ禍を受けて変わる日常も、自動認識技術（AUTO-ID）は支えています。

▼主催者・出展社プレゼンテーション ※聴講無料

【JAISA セッション】

自動認識の市場調査報告や基礎知識講演（チュートリアルセッション）、事業成果発表などを行います。

10月6日（水）	10月7日（木）	10月8日（金）
「自動認識技術の動向と 2020年自動認識市場調査報告」	チュートリアルセッション1 「バーコード・二次元シンボル編」	チュートリアルセッション3 「生体認証編」
	チュートリアルセッション2 「RFID編」	

【自動認識システム大賞 表彰式&講演会】

JAISAが毎年表彰している「自動認識システム大賞」の今年度受賞システムの表彰式と発表を行います。

10月6日（水）

受賞企業表彰式	
(株)デンソーウェーブ、富士通セミコンダクターメモリスソリューション (株) UHF帯バッテリーレス電子ペーパータグを活用した工程間搬送システム	産経新聞社賞 (フジサンケイ ビジネスアイ賞)
ジック (株) Deep Learning を使った物流仕分けソータ上の単品識別システム	優秀賞
高桑美術印刷 (株)、黒龍酒造 (株)、(株)サトー 日本酒の正規品流通経路管理のための、二次元コードとRFIDハイブリッド活用	優秀賞
(株)サトー、沖縄セルラーアグリ&マルシェ (株) 温度ロガー機能付きデュアルRFIDラベルによる農産物の定温物流管理	大賞

【JAISA フォーラム】

自動認識の関連規格や事業成果発表などを行います。《事前予約制》

10月7日（木）

～RFID導入に成功するための虎の巻～「RFIDユーザのためのRFID活用ガイドライン」の活用法 「RFタグ読取評価指標（TIPP）の検討報告」 「少ないサンプル数で実現する生体認証精度評価方法の国際標準化と今後の展望」 「ISO/IEC 24458（JIS X 0527）概要と国際標準化」 「医療自動認識プロジェクトの取り組み」 「画像認識技術導入ガイドラインの紹介」

【出展社プレゼンテーション】

今回も出展企業が展示会場内で自社の製品・ソリューションをプレゼンする「出展社プレゼンテーション」を行います。発表企業は以下の通りです。

10月8日（金）

画像AIで自動化を成功させるコツ	(株)トラスト・テクノロジー
RFIDアライアンスの新製品	(株)RFIDアライアンス
製造DXソリューション「NAVINECT®クラウド」のご紹介	凸版印刷(株) DXデザイン事業部
シリアル番号付き暗号化QRシンボルを用いた偽造抑止	(株)テララコード研究所

▼ゾーン展示

【モバイル&ウェアラブルゾーン】

製造、運輸、流通、店頭などの現場ではモバイル端末の存在は今や珍しい物ではなくなりました。それに加え身に付けて作業効率を上げるためのウェアラブル機器が昨今注目を集めております。それらのモバイル&ウェアラブルと自動認識技術が融合することによりさまざまなイノベーションが予想されます。

本ゾーンでは、モバイル端末・モバイル連携機器、ウェアラブル機器などを集めたゾーンを設置いたします。出展企業は以下の通りです。

アイメックス（株）、（株）ガゾウ

【画像認識ゾーン】

カメラ付きの携帯電話やスマートフォンが急速に浸透して、今では一人が一台画像認識ツールを保有して利用する時代となったといっても過言ではありません。製造工程での活用やセキュリティ用途の拡大はもちろんのこと、生活者がもっと身近に活用し情報入手するなどさらなる可能性を秘めています。

自動認識総合展では、画像認識技術による個体パターン認識や画像処理による画像情報の認識、バーコード認識、文字認識（OCR）、指紋・顔認証などを中心に、企業や生活者が利用できる応用技術など幅広く先進の画像認識技術を集めたゾーンを設置いたします。出展企業は以下の通りです。

（株）グレーブシステム、コムシス情報システム（株）、（株）シフトノ（株）インフォファーム、デュプロ（株）

（株）とめ研究所、（株）トラスト・テクノロジー

尚、このほかにも公式サイト上で展示会のご案内をしておりますのでご参照ください。

<https://www.autoid-expo.com>

●公式サイト「プレスの方へ」では、以下データがダウンロード可能です。

1. 「第23回自動認識総合展」ロゴデータ
2. 「自動認識セミナー B・T Spice」のロゴデータ
3. 「2019年度の会場風景などの写真」
4. 「ポスターデータ」

----- <お問い合わせ先> -----

展示会事務局

（株）シー・エヌ・ティ 担当 = 田中

Tel.03-5297-8855 Fax.03-5294-0909 info@autoid-expo.com

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-24-3 FORECAST 神田須田町 4F